

## 事前評価（事業費 10 億円未満）調書

事業名	大阪府立母子保健総合医療センター ファミリーハウス整備事業	
担当部署	健康医療部 健康づくり課（大阪府立病院機構 本部事務局 施設整備グループ）	
事業箇所	和泉市室堂町 8 4 0	
目的	<p>小児がんなどの慢性疾患の治療については、入院期間が長期にわたることが多く、その間家族と離れて暮らすことは、患児や家族にとって大きなストレスとなる。多くの家族は患児の付添いとして病室で夜を過ごし、食事も簡易なもので済ますなどし、更には自宅に残した家族のことも気にかかるなど、その負担は心身ともに大きく、日々、不安な生活を送っている。</p> <p>母子センター敷地内には既存ファミリーハウスがあるが、築後 30 年が経過し老朽化が進んでいる。またエレベーターが設置されておらず、浴室やトイレが共同利用となっているなど利用上の問題点も多い上、常にキャンセル待ちが生じているなど、室数も足りない状況である。</p> <p>患児の治療効果の向上と家族の負担軽減を図るため、自宅のように安心して寛ぐことのできる「患児と家族の団らん場」と病気の家族を持つ者同士の不安を和らげることのできる「患児家族相互の情報交換や交流の場」の機能を有する新たなファミリーハウスを整備し、療養環境の支援・充実を図ることを目的とする。</p>	
内容	<p>【計画】</p> <p>○建物構成：ファミリーハウス（宿泊施設）</p> <p>1) 専用部門 ・ 宿泊室 12 室</p> <p>2) 共用部門 ・ キッチン、ダイニング、ラウンジ、多目的室、プレイルーム、ランドリールーム、パソコンルーム等</p> <p>3) 管理部門 ・ 事務室、リネン庫、倉庫等</p> <p>○延床面積：1,000 m<sup>2</sup>程度</p>	
事業費	<p>全体事業費：約 3.5 億円</p> <p>（内訳） 建設工事費等（調査・設計・監理費含む） 約 3.2 億円</p> <p>備品費 約 0.3 億円</p>	
	<p>【事業費の積算根拠】</p> <p>類似施設の実績による</p>	<p>【工事費の内訳】</p> <p>建設工事 約 3.0 億円</p>
事業費の変動要因	<p>【他事業者との協議状況】</p> <p>【今後の事業費変動要因の予測】</p>	
維持管理費	500 千円／年	
関連事業	—	

<p>上位計画等における位置付け</p>	<p>○大阪府立病院機構第2期中期目標 [大阪府策定] (H23.3)  ・機能強化に必要となる施設整備などを計画的に進めること。</p>
<p>事業を巡る社会  経済情勢等</p>	<p>○現施設の老朽化  現在の別館（ファミリーハウス）は築後30年が経過し建物、設備共に老朽化している。</p> <p>○利用者への配慮  現施設はエレベーターが設置されておらず、バリアフリー化されていない。また、浴室やトイレが共同使用となっており、利用上の問題点が多い。</p> <p>○利用者の状況  特に、春・夏休み期間については常時キャンセル待ちが生じているような稼働率であり、ニーズに答えるには、現宿泊室の6室では足りない状況である。</p>
<p>地元の協力体制等</p>	<p>—</p>
<p>事業の投資効果  &lt;費用便益分析&gt;  または  &lt;代替指標&gt;</p>	<p>&lt;費用便益分析&gt;  母子保健総合医療センター ファミリーハウス整備については、費用便益の測定手法が確立されていない。</p> <p>&lt;代替指標&gt;  ○今回の12室の整備により、キャンセル待ちが解消される。  H20～H22平均利用実績 約3,580人（利用延べ人数）／6室  （キャンセル待ちは1年を通して常時3～6件あり）</p> <p>○今回の整備における利用者数の拡大  3,580人 ⇒ 6,560人（完成後の1か年目標）  （3,580人 × 11室※／6室 ≒ 6,560人）  ※入院患児の急変による患児家族の宿泊延長、突然の重篤患児の受入れ等による緊急対応のため、1室については予備室とし確保する。</p>
<p>定性的分析</p>	<p>○「患児と家族の団らんの場」及び「患児家族相互の情報交換や交流の場」を提供  ○長期入院患児・家族の負担軽減及びアメニティーの向上  ○ボランティアの活動拠点としての人材育成などにも利用</p>

事業段階ごとの進捗予定と効果	<p>平成23年度：基本設計</p> <p>平成24年度：実施設計・建設工事（～平成25年度）</p>
完成予定年度	平成25年度
代替手法との比較検討	<p>○現在の施設を改修する。</p> <p>①建物の老朽化及びバリアフリー化のため、改修工事が必要となる。</p> <p>②改修工事期間中の施設利用ができない。</p> <p>③現施設では必要な所要室の確保ができない。</p>
自然環境等への影響とその対策	基本計画・基本設計段階で省エネルギー及びヒートアイランド対策への配慮について提案、検討を行う。
その他特記事項	大阪府地域医療再生計画「三次医療圏」（平成23年11月4日付 厚生労働省提出）にて交付金申請。（計画期間は平成23年度から平成25年度まで）

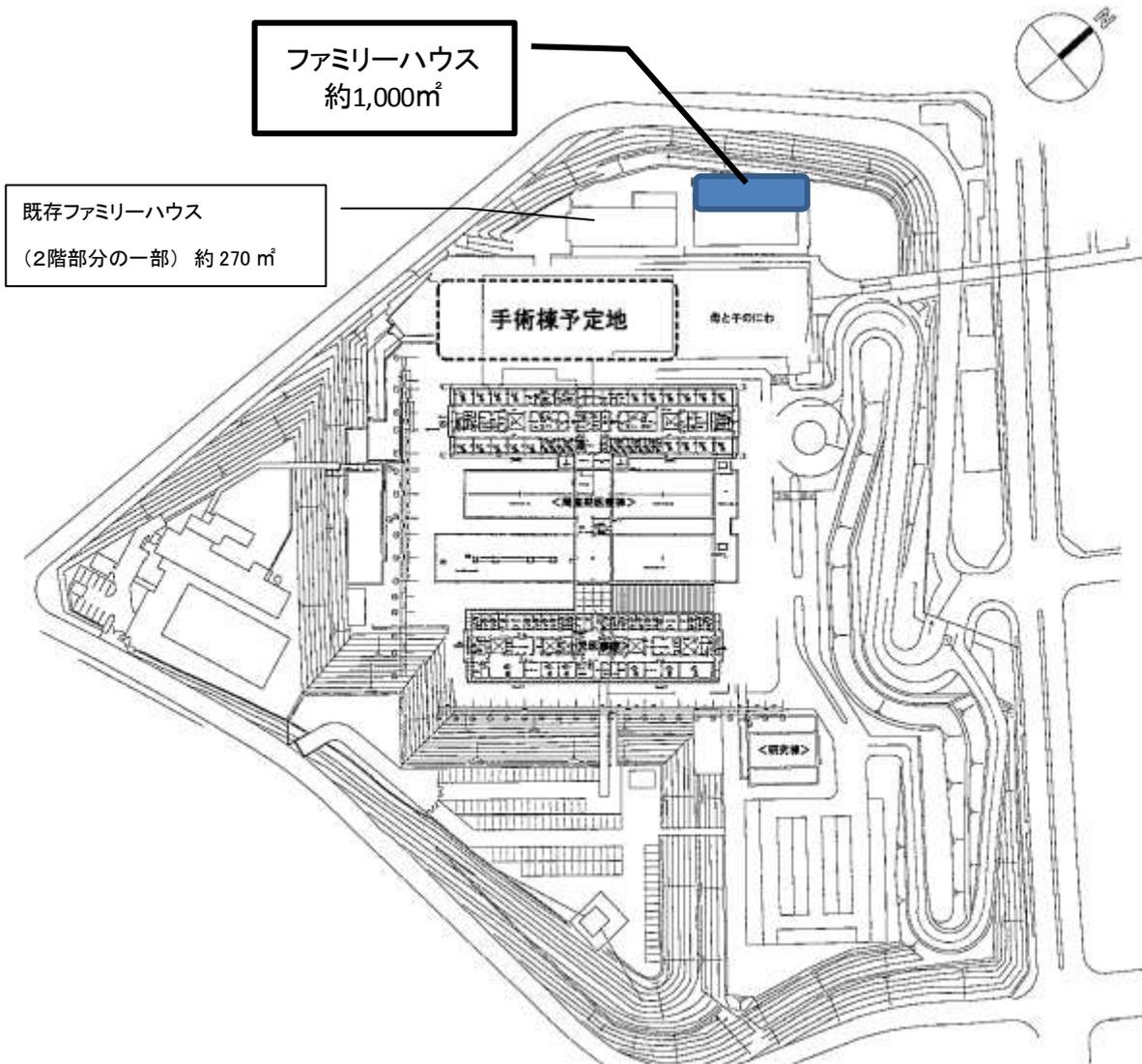
対応方針	<p>・事業実施</p> <p>&lt;判断の理由&gt;</p> <p>小児がんなどの慢性疾患患児については入院が長期にわたり、患児及び家族の負担は心身ともに大きい。</p> <p>また、現施設は築後30年が経過し老朽化が進み、エレベーターが設置されていない上に、浴室やトイレが共同利用など十分な利用環境とは言えない。</p> <p>新たにファミリーハウスを整備することでそれらを改善し、「患児と家族の団らんの場」及び「患児家族相互の情報交換や交流の場」を提供し、長期入院患児及び家族の負担軽減と療養環境の支援・充実を図る必要があるため、本事業を実施することとする。</p>
------	--

# 大阪府立母子保健総合医療センター ファミリーハウス整備事業

付近見取図



配置計画図



ファミリーハウス イメージパース

